

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月25日（水）

2 確認箇所

モニタリングポストNo.7（MP-7）

3 確認項目

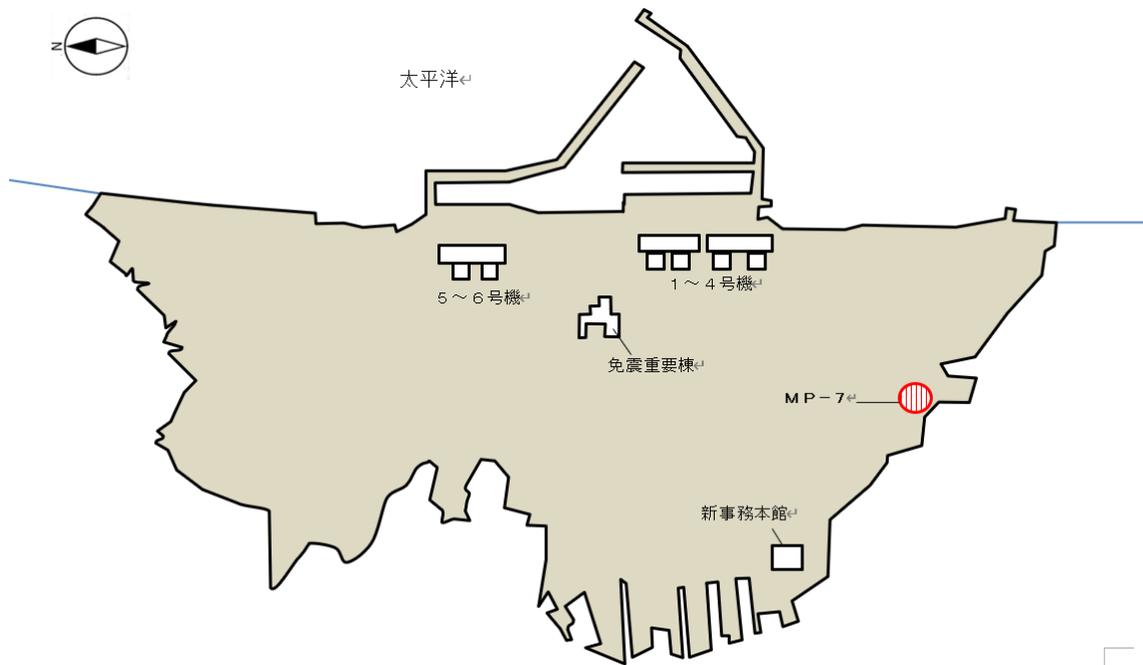
モニタリングポストの設置状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所の敷地境界付近には、モニタリングポスト（以下「MP」という。）が8か所設置されている。今回は、これらMPのうち、敷地境界の南側に設置されているNo.7の設置状況について確認した。（前回確認：[令和6年9月5日](#)）

- ・MPNo.7は周辺監視区域の外側に設置されていた。
- ・MP周辺の地面はコンクリート又はアスファルトで舗装されており、放射線検出器は、鉄板の間にコンクリートを打設した遮へい壁^{*}で囲われていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、MPに設置された放射線検出器やダストモニタ吸引口等の外観に異常は確認されなかった。（写真2）

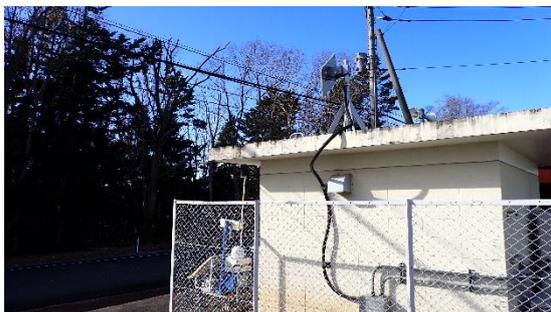
※ 事故により放出された放射性物質の影響により、モニタリングポスト周辺の空間線量率が高い状況にあることから、早期にプラントからの新たな放射性物質の放出を検知できることを目的に平成24年4月にNo.6、7、8に設置された。その後、No.6は周辺の線量低減が進んだことから、平成25年7月に遮蔽壁が取り外されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
MP No. 7の外観
(南西側から撮影)



(写真1-2)
MP No. 7周辺の状況
(北東側から撮影)



(写真 2 - 1)
遮蔽壁内側に設置された放射線検出器



(写真 2 - 2)
ダストモニタ吸引口 (A系)
(局舎南西側に設置)



(写真 2 - 3)
ダストモニタ吸引口 (B系)
(局舎北東側に設置)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。